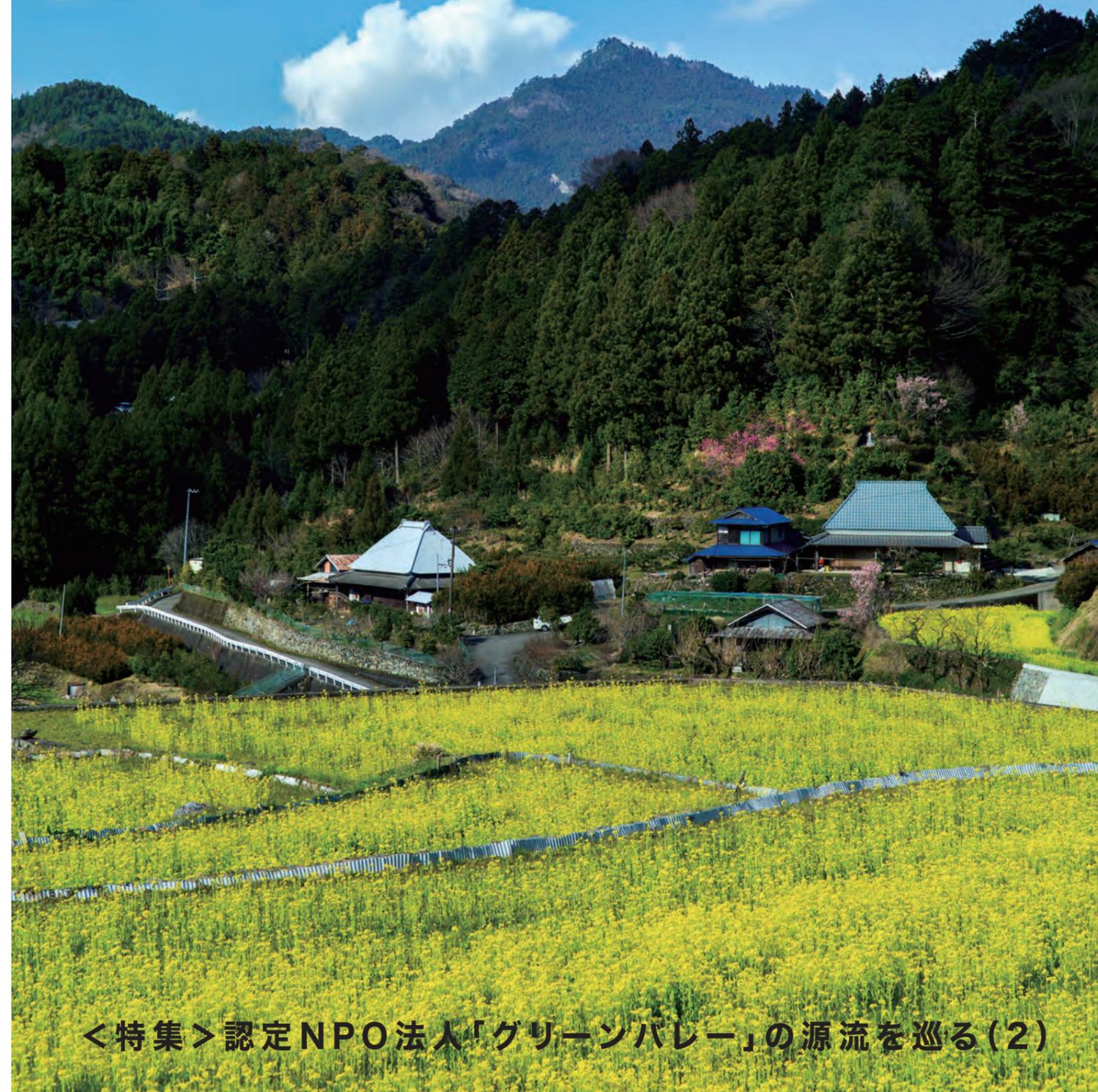


GREENVALLEY JOURNAL

April 2020 vol.07



連載1 最近のKAIR (神山アーティスト・イン・レジデンス)

2020年度KAIRに向けて準備中!



2020年度神山アーティスト・イン・レジデンスの参加募集を2月28日(金)に締め切り、ただいま事務局では、頂いた応募申請書の確認・翻訳作業へと入っています。提出書類の中には、神山町でどんな作品をつくりたいかを提案してもらった項目があり、芸術家たちの想像力豊かな言葉とスケッチが綴られています。この応募の中から選出された2〜3組の芸術家は、8月末から約2か月のあいだ招聘作家として神山で滞在、作品制作を行います。招聘作家の選出結果の発表は5月31日(日)を予定しています。そして、以前より制作を進めておりました神山マップ英語版、完成間近です!

芸術家たちに向けて制作した、KAIR特製の英語地図をもとに、来町される外国の方々に広く使っていただけるよう工夫を凝らした神山マップが、いよいよ発行されます。修正に修正を重ね、やっとここまで辿り着きました。どうぞお楽しみに!

改善センター前、ソメイヨシノの蕾が色づいてきました。
《境界・内と外》
クウイン・ヴァンツ
Quynh Vantu (2015)



連載3 ほんのひろば

＼月イチブックカフェ 始まります!／

豆ちよさんからのメッセージ:「ほんのひろば」出張所として、寄井にある豆ちよ焙煎所内に2週間に一度本を届けていただいて1年半。本があるだけで、お買い物時間が豊かに広がる場面をいくつも見るにつれ、コーヒーを片手に本を読む時間をもっと楽しんでいただきたい!と思うようになりました。ということで、「ほんのひろば」に豆ちよがおじゃまします。4月から、月に一度入り口のカウンターにて一杯ずつ心を込めてコーヒーをお淹れします。「ほんのひろば」の皆さんとWSなども考えているので楽しみに。大切に受け継がれて来た本の中からお気に入りを見つけて、ホッと一息どうぞ。コーヒーはテイクアウトできます。本の貸し出しもぜひご利用ください。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

●4月19日(日)10:00-16:00 @ほんのひろば
(参加者の皆様の安全を考慮し開催を見送る際には、「イン神山」<https://www.in-kamiyama.jp/>にてお知らせします)

●メニュー:ホットコーヒー、アイスコーヒー、ジュース、焼き菓子など。豆売りもいたします。

<神山町農村環境改善センター1階>
【開館時間】8:30~17:30 ほぼ年中無休(年末年始のみお休み)
<http://honnohiroba.strikingly.com/>



連載2 GV ニュース

関西財界セミナー賞 2020 特別賞



グリーンバレー理事、齊藤 郁子と関西経済同友会 代表幹事 池田博之さん。

2月7日(金)関西経済連合会主催の「関西財界セミナー」において、グリーンバレー(GV)は「関西財界セミナー賞2020特別賞」を受賞しました。「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を活かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」に贈られるものです。贈呈式には、齊藤郁子理事がGVを代表して臨み、お礼を述べさせていただきました。

式典後の懇親会でもたくさんの方々から笑顔でエールをいただき、改めて、神山を、徳島を、関西を、そして日本を、ますますステキに変えていくためのエネルギーと勇気をいただきました。



連載4 グリーンバレーメンバーリレー

伊藤友宏(神山町移住交流支援担当)

奈良から移り住んで、もうすぐ7年になります。神山塾が縁で始まった上分川又の古民家シェアハウスでの暮らしが4年。すみはじめ住宅「西分の家」に引っ越してきてもうすぐ3年です。神山中でシェア暮らしを経験してよかったことは、自分で料理をするようになったこと。身近に手に入る旬の食材と、できあがった料理を食べてくれるルームメイトのおかげで、「趣味は料理です」と言えるようになりました。頂いた鹿肉を唐揚げにしたり、鳴門金時を大学イモにしたり、畑で摘ませてもらったフキノトウを天ぷらにして、ついでにレンコンチップスやポテチも作ったり、最近まで揚げ物にはまっていた。今は中華が好きなルームメイトに触発されて、チャーハンのレパートリーを増やしてみたいなと思っています。



表紙「菜虫化蝶」
撮影:生津勝隆
上分江田集落に広がる棚田は、地域の方々のご尽力により毎年菜の花畑に変貌する。遠くには焼山寺山を望むことができる。



神山のサポートについて
グリーンバレーの活動は、皆様からのご支援によって支えられています。私達の活動趣旨にご賛同いただき、暖かいご支援をぜひお願いいたします。詳しくは以下のページをご覧ください。
<https://www.in-kamiyama.jp/donation-to-greenvalley>

発行/お問い合わせ
認定特定非営利活動法人グリーンバレー
<https://www.in-kamiyama.jp/npo-gv/>
MAIL: greenvalley@in-kamiyama.jp
〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字中津132
TEL: 088-676-1178



<特集> 認定NPO法人「グリーンバレー」の源流を巡る(2)



認定NPO法人 「グリーンバレー」の源流を巡る(2)

グリーンバレーまとめ @「神山町農村環境改善センター」



グリーンバレー (GV) は自身が指定管理を行う「改善センター(通称)」の1階に小さなオフィスを構えています。この改善センターは、神山町民の皆さんの様々な活動で頻りに利用されており、ほぼ毎週、勉強会や発表会・講演会、また、句会、三味線や健康教室など様々な教室・イベントが開催されています。また移住者、地元住民の区別は一切なく、誰でもいつでも気軽に立ち寄ることができる、まちの真ん中にある小山の上のオープンな場所です。



(写真上) 和気満々GVファミリー
(写真下) 神山町農村環境改善センター
<https://www.in-kamiyama.jp/npo-gv/>



GV ミッション **「日本の田舎をステキに変える！」**

GV ビジョン

- 「人」をコンテンツにしたクリエイティブな田舎づくり
- 多様な人の知恵が融合する場「せいかのかみやま」づくり
- 「創造的過疎」による持続可能な地域づくり

GVウェイ (もの考え方)

- できない理由より、できる方法を!
- Just Do It! とにかく始める!

- GVの事業**
- 神山アーティスト・イン・レジデンス **1**
 - ベッド & スタジオプログラム (アーティストの滞在支援) **1**
 - 神山町農村環境改善センター指定管理 **2**
 - 市民ライブラリー整備 **2**
 - 神山町移住交流支援センター受託運営 **3**
 - KVSOC 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス運営 **4**
 - サテライトオフィス誘致 **4**
 - INAKAオフィス・コンシェルジュ **4**
 - 神山国際アクセラレータプログラム **4**

- 新規事業創出育成支援事業 **4**
- 神山ガウディプロジェクト **4**
- 高等専門学校開校準備事業
- アドプト・ア・ハイウェイ (清掃活動をベースとしたまち美化プログラム)
- 森づくり
- 神山ワーク・イン・レジデンス (寄井・上角商店街再生事業)
- 神山塾(人材育成支援)※活動休止中
- KMS 神山メカースペース
- イン神山改修運営
- 農下村塾

GVメンバーの想い 0 今、ここに住んでいる人たちが いかに楽しんでいるかが大事

中山竜二
(グリーンバレー理事長)



— 神山って、いろんな人たちが生き生きとうごめしている(笑)だから、自分もやっていいような気がするんじゃないかな? 地元の人たちは信心深い人が多いし、おすそ分けや、お手伝いしあう文化が土台にあって。GVの理事やメンバーがよく言う「神山に来てみたらわかる」っていうのは、そんな「空気感」。

— 地域づくりって、そこに住んでる人たちがいかに楽しんでいるかが大事やと思うな。あったかいところに人は集まるでしょ? 神山はそんな楽しい、あたたかい場所が多いのかな。そこへ人も集まってきていたような。神山で暮らしている人が、健康で、暮らしていけるくらいの収入があり、役に立ってるなど、だれもが思える、そんな風になれたらいいな。日当たりが良くて風通しがよいのが、ボクが思う神山のイメージ。一度来てみて、まるごと体験してみたいですね。

1 アーティストさんたちと ”ひとつのチーム”としてやってる感覚

工藤桂子、糸井恵理
＜神山アーティスト・イン・レジデンス/
ベッド & スタジオプログラム＞



KAIR DIYレディーズ、糸井(左)と工藤(右)。「ほはしの機関車」アダム・アヴィカイン(2010)

— KAIR 担当は、企画自体の立案や手配に限らず、一般企業と同じく予算確保から報告書提出まで、秋の KAIR 実施期間以外にも年間を通して様々な業務を行っています。特に助成金申請は、秋のプログラムプランを前年の夏〜秋に申請する必要があるため、労力を費やします。秋プログラムには毎年国内外より 100 組を超える芸術家からご応募をいただいています。例年 2 月末に、次年度の秋プログラムへの参加申込を締め切り、書類確認・翻訳・選考作業を行うのですが、報告書提出時期と重なっているため大変です。

GVメンバーの熱い想い／農村環境改善センター

令和 2 年目の第 2 号では、前号に続き「認定 NPO 法人グリーンバレーまとめ号」です。今号では、グリーンバレー (GV) メンバーひとりひとりから、GV メンバーになってからずっと思っていることや印象に残っていること、これからのことなどを共有したいと思います。GV メンバーの言葉から、町民の皆さんや神山に関わるすべての方々と一緒に、神山と GV の「これから」を創り上げる過程のワクワクが、読者の皆さんにも伝わると嬉しいです。なお、GV の現場メンバーの活動を昔と変わらない熱量で支援している創業メンバーによる「グリーンバレー今昔+これから(座談会)」は、グリーンバレージャーナル 2020 年 3 月号 (<https://www.in-kamiyama.jp/diary/46446/>) をご覧ください。

— 春から夏にかけては、ベッド&スタジオプログラムという、自費で来られる芸術家のサポートも行っています。有り難いことに、繰り返し足を運んで滞在して下さる芸術家も多くいらっしゃいます。また、作家と相談しながら企画するオープンアトリエや関連イベントへは、町内外から様々な方が参加してくださいます。そうした、芸術を通した交流の中で、新しい地域とのコラボレーションが生まれたりもします。どんな状況でも、段取りがとても重要になってくるので、慎重に丁寧に行うよう心がけています。また、アトリエと 4 戸ある宿舎の清掃から、”レディーズDIY” ながら修理や整備まで、二人で行っています。制作サポートの準備や、アーティストたちの制作スケジュールを鑑みて町民の皆さんにお願いするタイミングを調整したりと、細々とした苦労は多いのですが、これが私たちにとって「神山にいる意味」。楽しんでます!

2 公共施設と委託管理、 両方の気持ちを汲んで より良い施設管理をめざす

河野定子、市脇和江＜神山町農村環境改善センター、
社会体育施設等の指定管理＞



市脇(左)と河野(右)、ほんのひろばにて。

— GV は改善センター以外にも公民館や体育館、グラウンドに体育倉庫など 6 つの神山町の施設管理を受託し、皆さんが使いやすいよう工夫を凝らして管理しています。利用受付の電話予約は GV メンバー全員で対応しています。管理業務の配分は利用状況にあわせて自分たちのペースでやらせていただいています。

— 私たち二人共だいたい改善センターにいるので町民の皆さんといつも顔を合わせる機会があり、このセンターが交流のきっかけになっていると感じています。

— 私(市脇)はGVの事務作業を担当しながら、施設管理やほんのひろばの運営に取り組んでいます。日頃から、みんなが神山でちゃんと人生設計できる収入が得られるようになるという思いがあります。友達もいっぱいできたし、安心だし、個々人が考える幸せが感じられるから神山に住んでるのですが、個人や団体が自立することができて、それぞれが時々でも「おもしろいこと」をやり続けられる。そんな持続性のある神山になるといいなと思います。

- 市脇のおすすめ
もじゃハウス「精進料理の会」加茂谷のくめかなこ先生がいっぱいやるのが最高。
- 河野のおすすめ
「隠された図書館」一人で薪ストーブ焚いてコーヒーを飲むのが最高です。

3 移住フェア出展よりは、 神山まで足を運んでくれる 方たちの満足度を充実させたい

伊藤友宏/林大晟(たいせい)
＜神山町移住交流支援センター受託運営＞



林(左)伊藤(右)コンビ。改善センター玄関で。

— 神山への移住に関する業務をすべて担当しています。空き家紹介、契約コーディネートから空き家の片付け、改修の相談、移住後のフォローまで、細かいサポートを心がけています。中でも空き家所有者、移住希望者からの相談対応とそのマッチングがキモです。実はGVは、今まで移住フェアに参加したことがありません。移住フェアに集まる人を勧誘するよりは、神山まで足を運んでくれる方たちの満足度を充実させたいとの思いがあります。

— 毎年 15 件くらいの移住をサポートしていて、メール、電話での相談を含めると毎年約 80 件の問い合わせをいただきます。移住希望のみならずには、神山の暮らしのいい面・悪い面を両方お伝えして、納得したうえで移住を選択してほしいです。空き家の持ち主さんの期待に応え、満足いただけるよう、契約のバランスにも気をつけてます。

— 2019 年 10 月から林さんが入り、業務情報のデータ化にも取りかかりました。移住交流支援センターのサービス向上につなげていきたいです。

- 伊藤からひとこと
これまでの業務経験を活かしたいと、司法書士の資格試験の勉強を始まりました。
- 林からひとこと
今は伊藤さんの移住支援業務を確実に遂行できるようにするための見習い期間です。神山に移住したい方に神山の魅力や存分に伝えられるよう、地元の方々と丁寧なコミュニケーションを意識しながら仕事しています。

4 神山という文化は、 何かを始めたい人の背中を 押してくれる存在

砂田莉紗(りさ)＜KVSOC 神山バレー・サテライト
オフィス・コンプレックス運営/サテライトオフィス支援>
竹内和啓(グリーンバレー事務局長)

— 私(砂田)が運営に携わる神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックスは、7年前にできた神山町唯一の coworking space です。特徴は、仕事をする人だけでなく、見学する人、併設の神山メカースペースを使う人、毎週のカレーランチに来る人、差し入れしてくれる地元の人など、いろんな人が訪れること。そんな皆にとって居心地のいい、「非日常」空間を作りたいです。そう思うのは私自身が、懐が深く「すきま」がある神山に来て、自分の生き方をじっくりと考える中で仕事をする意味を見出せたから。だからこも想定外の人・アイデア・自分の一面に出会い、神山の魅力を体感できる場所として継続して行って欲しい。そのために私ができることは何だろうと考えています。正解がないことに時折悩みつつも「コンプレックスの魅力は何よりもそこに集まる人」だと確信しています。いい出会いを生み出す前向きなエネルギーを湛えている場所であり続けるため、アイデアを一つ一つ実現していきたいです。

— 機動力を発揮できるようになってきた砂田さんは、納得してノると、新人らしからぬ力を発揮する人(笑)その納得をするために真剣に考え抜いている。そういう経験が仕事の現場で生きる環境が、この神山で働く価値だと思います。私(竹内)の役割は、ここ神山で志しある人が新しいことを始められる、継続できるようにあらゆるリソース(人・モノ・金・情報)を獲得・配分する 21 世紀のファンドマネージャー?かなと思いついてます。神山という文化は「何かを始めたい人の背中を押してくれる存在」だと思うし、これからもそうあるよう GV を運営しています。自分自身も、「やりながら学ぶ」「走りながら創る」人でもまわりにご迷惑かけながらもありますが、チャレンジを続け、これからは変化を創り出し、楽しみたいと思っています。



砂田選手(左)と竹内コーチ(右)、コンプレックスで。